

■2014年5月17日(土) 山陰中央新報

山陰中央新報 2014年(平成26年)5月17日(土曜日) 地域 24

山陰経済

TEL0852(32)3330 経済情報は本社政経部へ

工場増設を決め覚書

島根県、雲南市と 10月操業開始目指す



精密板金加工 精密部品加工

精密板金部品加工のゼンキンメタル(雲南市木次町里方、後藤友則社長)が工場増設を決めて16日、島根県、雲南市と覚書を交わした。医療用エックス線装置部品の増産と生産性向上を図る。10月の操業開始を目指す。3年間で7人を新たに雇用する。

同社は1995年に設立し、従業員は52人。大手医療用機器メーカーや大手

厨房機器メーカーを取引先とし、製品の板金加工や組み立てを受注している。人口増加や健康意識の高まりから、東南アジアでエックス線装置の導入が進むなど、拡大する需要に対応するため、増設を決めた。

計画では、雲南市木次町里方にある鉄骨平屋(敷地面積242平方メートル)の事務所兼組立工場を、鉄骨2階建て工場(延べ床面積57

複合加工機を導入する。総投資額は2億円。

投資後は2013年3月期に6億2千万円だった売上高を、17年3月期には7億2千万円に伸ばしたいと考えている。

松江市殿町の県庁であった調印式に溝口善兵衛知事、速水雄一市長と臨んだ後藤社長は「計画以上の成果の実現に向け、努力する」と述べた。

県は3600万円、市は720万円を助成する。

1平方メートルに改築する。隣接する工場で実施していた作業工程を集約し、業務の効率化を図るほか、最新の

■2014年5月17日(土) 中国新聞

本社工場増設で覚書

雲南の部品会社、県・市と

機械部品製造のゼンキンメタル(雲南市)は、板金加工や、インなど新需要で需要が伸びる医療用機械の受注増に対応するため、同市木次町の本社工場を拡大する。16日、県、同市と工場増設の覚書をつなげた。

2億円を投じ、1万1800平方メートルの敷地内にある鉄骨平屋の事務所兼工場(240平方メートル)を鉄骨2階570平方メートルに建て替える。敷地内の別棟工場(鉄骨平屋1010平方メートル)でも組み立てていたエックス線撮影台製造を一本化し効率化を図る。別棟工場は板金加工に特化し、最新機器2台を導入する。増設分が操業を始める10月から、3年間で7人を雇用する計画。2014年度3月期の売上高約6億2千万円から、17年度に1億円増を目指す。県と市は雇用や投資に対し最大計4300万円を助成する。

同社の後藤友則社長(59)は「地元の雇用を守り、島根のものづくりに貢献したい」と話していた。(秋吉正義)

■2014年5月17日(土) 島根日日新聞

ゼンキンメタル 工場を拡張

10月操業7人の地元雇用計画 アジアの需要増に対応

各種機械部品の製造などの組み立てを行なう。金属材料(雲南市木次町)は今年10月の操業予定で工場を拡張し、増産を図る。投資額は板金加工機械などの設備投資に1億3400万円、工場増築費7000万円。操業から3年で計7人の地元雇用を予定している。15日、雲南市と県との覚書で企業立地に關する覚書を交わした。

同社の後藤友則社長と、溝口善兵衛知事、雲南市の速水雄一市長ら(左から溝口知事、多和田相談役、後藤社長、速水市長)

■2014年5月20日(火) 日本経済新聞

島根・雲南で工場増設

ゼンキンメタル 3次元の金属加工強み

機械部品製造・加工のゼンキンメタル(島根県雲南市)は本社敷地に工場を増設する。島根県および雲南市と立地計画覚書を取り交わした。建物・機械の投資額は2億円で、3年間で地元から7人を新規雇用する予定だ。

ゼンキンメタルは3次元処理の金属加工を得意とする。島津製作所、ホシザキ電機などが主要取引先だ。1995年の創業当初は年間約3億円だった売上高が、14年3月期には約7億円に増えた。従業員数は約60人。ここ数年、出荷が伸びているのは島津製作所から受注する医療用機械の部品だ。エックス線撮影装置が医療・健康産業の成長の著しいインド、東南アジアで急伸びしている。増設によりレーザー加工の新鋭機などを導入して生産効率を上げる。